

仙台空港

【実施主体：個社】

仙台空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】 賃上げを含む処遇改善に不可欠な受託料の引き上げ	委託先との契約金額の見直し	処遇改善含む賃上げ等、委託先社員の還元を前提として委託先との契約金額を見直し。	
	外航受託料の引き上げ	本社にて、外航受託料の引き上げ交渉を実施。	
	総代理店への委託料の見直し	本社にて、R5年度契約料の引き上げを実施。R6年度契約料の見直し検討に着手。	
	検査会社への委託料の見直し	本社にて、R5年度に引き続きR6年度契約料金の引き上げを実施。	本社にて、R5年度に引き続きR6年度契約料金の引き上げを実施。
【短期】 人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化（キャンセル料の設定 等）	契約における最低保証料金の設定	最低保証料金の設定や品質連動制度等、委託先の経営の下支えやモチベーション向上に繋げられるような契約料金設定を実施済み。	
	外航受託契約条件の見直し	本社にて、最低保証条項の導入を検討中。	
	検査会社への委託契約条件の設定	本社にて、検査会社への委託契約に時間保証を継続して設定。	
	キャンセル料の設定	当日キャンセル分は100%請求できる契約を締結。	
【短期】 職場環境改善に向けた取組の推進	オフィスや休憩スペースの増床・リニューアル	復便、増便に伴う職員増に対応すべく、オフィススペースや休憩スペースを増床。あわせて、職場環境の改善を図るため、安全衛生の観点から改修を実施。	
	職場環境課題の定期的なヒアリング	本社にて、全国空港所長による定例会議等を通じ毎月職場環境課題の集約を実施。対応を検討中。	
	①全社員に対し、毎年職場環境改善アンケートを実施 ②社会情勢を鑑み、手当の支給・新設・賃金改定を実施	①要望事項を取り纏め、本社・各事業所ごとで対応可否について検討協議し、社員が働きやすい環境となるよう改善を常に図っている ②定期昇給・ベアに加え、新規手当の支給、既存手当の増額	
【短期】 職員負担の集中を回避するための正確な現状把握	職員数や労働時間の定点的な情報収集	職員の負担を定量的に把握し改善に繋げていくため、配員バランスや採用状況、労働時間の定点的な情報収集を実施。	
	生産量ならびに生産対応状況の把握	本社にて、総代理店の生産対応状況を毎月把握。	

【実施主体：個社】

仙台空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】 適切な業務量調整による高負荷の抑制	正社員領域、派遣領域の見直し	復便、増便に伴う職員負担増の軽減のため、正社員領域の見直しを実施。一部業務については、アルバイト・派遣社員等も活用し業務量（職員負担）を調整。	
	外航側からの応援要員派遣	本社及び仙台にて外航と調整し、不足人員を外航側からの応援要員で暫定的に充足。	
【短期】 採用活動の推進（グラハン経験者採用の強化（Uターン・Iターンの活用）等）	自社グループ空港業務採用情報の特設サイトを公開	空港業務の幅広さや魅力を発信し、グループ各社への応募者増や委託先各社の採用機会に繋げるため、空港業務の採用情報に特化した特設サイトを公開。	
【短期】 教育期間の短縮に向けた工夫（実践技術に特化した訓練等）	同業他社との教育課程の調整	同業他社と同一の委託先である場合、教育内容のなかで共通した個所を洗い出し、重複しての教育を省略できるように制度を検討中。	
【短期】 教育期間の短縮に向けた工夫（実践技術に特化した訓練等）	係員の訓練時間の適正化	本社にて、受託にかかる訓練時間の短縮余地の精査を実施。	
	複数社のランプ作業資格の相互承認	1社で複数社をハンドリングしている10空港を対象に、作業資格の相互認証ならびに同種教育（航空保安・飲酒対策・落下物防止対策）の共通化施策を検討中。 相互承認を行う対象資格を7つ（TT,BL,PBB,MAS,WW,PK,PB）に絞り、具体的な承認フローを検討中。1月30日～2月2日に対象10空港への説明会を実施し、意見を集約。R6年4月からの運用開始に向け、検討中。	① 訓練時間の削減：各資格に対する座学時間および実技時間が削減できる。（インストラクター、訓練生ともに） ② 訓練期間の短縮：P/Bは実技訓練機会が限られるため訓練期間が現状1年程度かかるが、大幅に短縮できる。 ※対象空港に追加があります。
【短期】 需要回復の進捗状況に応じた、限られたリソースの集中的な投入	空港間の応援派遣	需要回復に対応するため、空港単体でのリソースで対応が難しい場合には、他空港からの応援者を派遣することでリソース不足を解消。	
【中期】 長期に誇りを持って勤められるキャリアパスの整備			
【中期】 ハード・ソフトの両面からの職場環境改善の推進	施設・設備の改善	休憩室、更衣室、通信環境等の現状調査、および改善を実施。	

【実施主体：個社】

仙台空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【中期】 特定技能制度の積極的な活用			

【実施主体：空港会社等】

仙台空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】 空港内の労働環境の改善	休憩スペースの提供	空港会社管理の会議室を検査会社へ無償提供	
【短期】 空港の知名度を生かした採用活動	空港会社HPへの採用情報の掲載	2023年3月から仙台空港専用の採用HPを立ち上げ、採用情報のみでなく現職職員のインタビューも掲載	
	合同企業説明会の実施	空港会社主催の合同企業説明会を開催し、グラハンス スタッフ、保安検査員の業務及び企業説明の機会を創出	
【短期】 マルチタスクを担うことができる空港人材の育成に向けた 研修			
【短期】 空港WGの活用推進			
【中期】 GSE車両の共用化・共有化の推進			
【中期】 男女比の極端な偏りの解消に向けた取組推進（「旅客は女性」等のイメージの払拭、更衣室等の施設整備等）			

【実施主体：地方自治体】

仙台空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 地元グラハン会社・検査会社とのコミュニケーション強化</p>			
<p>【短期】 空港業務は地域の雇用を支える地場産業であるという観点から、部局横断的な連携の下での取組の実施</p>			
<p>【短期】 空港業務支援も誘致支援の一部と位置付けた上での関係部局（観光、産業振興 等）と連携した支援の実施</p>			
<p>【短期】 空港WGの活用推進</p>			
<p>【中期】 地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の検討（空港アクセスの不便さを考慮した住居支援、通勤支援 等）</p>			
<p>【中期】 特定技能の在留資格を有する外国人が地域に馴染むための環境整備</p>			

【実施主体：国】

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】 各地の空港におけるベストプラクティスの横展開	所内展開	各空港の取組事例を所内展開し、当空港事務所の取り組み検討の参考としている。	
【短期】 地域の意欲的な取組への積極的な協力 (空港説明会への参画等)	空港見学会の実施	空港運営会社や航空会社との連携のもと、地元ビジネス専門学校や経済関係団体を対象とした空港見学会（当事務所は管制塔見学の受け入れ）を開催し、航空業界全般の理解度向上の取り組みを実施。	
	地元との関係構築	関係協議会や航空少年団、地元町内会の関係行事に積極的に参加し、空港・航空に関する理解度向上と地域共生を図っている。	
【短期】 生産性向上・業務効率化の実現に向けた取組支援	地方空港等受入環境整備事業費補助金制度の概要説明	空港運営会社・航空会社・給油会社・保安検査会社など、空港関係団体の代表者が集う交流会において、「航空・空港人材確保等緊急対策」に係る補助金制度の概要説明を実施。	
【短期】 各主体による取組の重要性の発信	「やりがい」意識の醸成	当事務所内においても、「ありがとうポスター」の取り組みを啓蒙するとともに、航空機利用時（保安検査通過時）の「ありがとう」発言を実践中。	
	人材確保の取り組み支援	国・運営会社共催による空の日記念事業「仙台空港祭」（R5.10.22）の企画会議において、グラハン会社によるマーシャリング体験会やGSE車両の展示、航空業界各社によるリクルートブースの設置など、人材確保に資する取り組みの実施を決定。	
【短期】 空港WGの活用推進	空港WGへの参画	空港WGや他空港事例等から得られた情報をもとに、当空港事務所が行える支援策を検討。必要に応じてWGへ提案し、議論の活性化を図っている。	
【中期】 空港DXの導入促進に向けた実証実験	他空港の導入事例等の横展開	空港運営会社と連携し、空港WGにおいて、航空局HPに掲載されているベストプラクティス等の他空港事例について横展開を行った。	
【中期】 更なる支援措置等の検討	地方空港等受入環境整備事業費補助金制度の活用推進	空港運営会社とも連携し、航空・空港関係者の人材確保・育成等、生産性向上に資する取組や国際線の受入環境高度化の推進に係る補助事業を事業者に紹介するなど、補助金制度の活用を推進した。	